

2017年7月10日

(臨床研究に関する公開情報)

静岡医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

病棟薬剤業務での疑義照会による有害事象回避事例件数の推移に関する多施設共同前向き観察研究

(副題) 有害事象回避事例率と病棟薬剤業務の成熟度の相関について

[研究代表者] 国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 鶴崎泰史

[研究責任者] 国立病院機構静岡医療センター 薬剤部 内野達宏

[研究の概要]

多施設共同で病棟薬剤業務の要因情報の共有が、疑義照会および優良事例件数増加につながることを検証します。結果、情報を共有することにより病棟薬剤業務の質が向上し、患者の薬学的管理と処方提案を的確に実施できる上、有害事象等の危険を回避、医薬品の適正使用の推進を図ることが可能となります。また、併せて疑義照会及び優良事例件数増加に伴う病棟薬剤業務実施背景についても調査を行い、今後、実施加算を取得する施設や現在取得している施設の業務改善の一助となる因子について検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さま

2017年9月～10月及び2017年12月～2018年1月の間に入院され、疑義照会による有害事象回避事例が発生した入院患者さま

●利用する検体、カルテ情報

検体：カルテ情報（診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：診断名、既往歴、年齢、性別、身体所見、検査結果、処方歴

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

この研究の対象となる方で、検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合は下記問合せ先までご連絡ください。なお、いかなる場合にも不利益を受けることは一切ありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構静岡医療センター

薬剤部 薬務主任 内野達宏

電話 055-975-2000 FAX 055-975-2725